

未来をつむぐライフマガジン

FREE PAPER

無料

ご自由にお持ち下さい

ボラみみ

2025年 No.266

11・12 月号



となりにいるよ





今号のテーマは、「**となりにいるよ**」。

「移民」や「難民」という言葉をよく耳にするようになりましたが、どこか遠い存在だと感じていませんか。

実際には、あなたの近くで暮らしているはずなのに。

彼らの声に、耳を傾けるのも、傾けないのもあなた次第かもしれません。

ただ、かつて200年以上も「鎖国」を続けた日本が「多文化・多民族」社会へ変わろうとしているのを、

世界は静かに見守っています。

言葉や文化のちがいで生まれる距離を縮めようと、地道に活動が続けている人たちの想いを聞いてみませんか。

INDEX

2025 11・12

- 入管の壁の向こう側 - 15年の対話 入管面会活動「フレンズ」 西山 誠子さん P.02
- だれも一人にしない 外国人と社会をつなぐ架け橋
NPO法人外国人ヘルプライン東海 後藤 美樹さん P.05
- カッテに社会派!映写室vol.16 P.08
- 第90回企業の社会貢献活動の現場から P.09
- あなたの街のボラスご紹介! P.09
- CivicTech入門20 P.10
- ボランティア情報 P.11
- ボラみみINFORMATION P.15



西山 誠子さん
入管面会活動「フレンズ」
NPO法人外国人ヘルプライン東海の
研修会模様

入管の 壁の向こう側

15年の対話

Interview
入管面会活動「フレンズ」
西山 誠子さん



ある日突然、「収容所」があることを知った一人の女性。65歳の彼女が立ち上がり、15年もの間、活動続ける原点になった収容所での出来事とは何だったのか。私たちの社会で、今何が起きているのか。私たちが知るべき現実と、目指すべき社会について、入管面会活動「フレンズ」代表の西山誠子さんにお話をうかがいました。

「気になる」から始まった活動

2009年の秋、交流のあったフィリピン人の友人から「友達が収容されたから、面会に行かない？」と誘われたことがきっかけでした。私は収容所があることすら知らなかったので驚き、友人と共に名古屋の出入国在留管理局（入管）に向かったんです。

当時、面会室は30人ほどの外国人やその家族でびっしりと埋まっていました。家族が離れ離れになっている状況ですから、とにかく重苦しい雰囲気、正直「どんな場所に来ちゃったんだろう」と思ったほどです。でも、それ以上に、入管職員のピリピリとした、ものすごく威張った態度は目に余るものがありました。帰宅してからも入管での出来事が忘れられず、特殊な場所だからこそ、日本人の目が必要だと思ったんです。そこで調べてみると、関西に収容された外国人の面会活動をしているグループがあると知り、話を聞きに行きました。その場で、名古屋から連絡をしてくる外国人を紹介され、2010年5月に、今は私たちの活動から退かれて

いる男性と2人で「フレンズ」を立ち上げたのです。

フレンズは現在4人のメンバーで活動していますが、入管での面会は立ち上げ当初から、ほぼ私ひとりでを行っています。彼らとの面会中、弁護士が必要だと判断すれば、すぐに連絡します。また、手数料は一切受け取らず、レシートでかかった費用をきちんと受け取る形で、買い物の代行もしています。突然収容された人の家族のサポートもしてきました。私自身、体調を崩したこともあり、2023年以降は週に一度だけ面会に行っています。

はびこる「文化」

活動を始めた頃は、入管にボランティアが入ること自体が珍しく、入管側はとても警戒していました。面会する際には、私の氏名、電話番号、職業、国籍、免許証番号を申し込み用紙に記入し、さらに免許証も一時提出が必須です。面会相手の国籍とフルネームを少しでも間違えると、門前払いでした。

今は収容の状況が改善されつつありますが、当時はひどいものでした。シャワーを浴びられる時間が限られ、部屋には鍵がかけられていたため、共用フロアの公衆電話も自由に使えませんでした。クリスマスに家族に電話ができないと嘆く人もいましたよ。食事は、今でもおかずは冷たいのですが、当時はご飯も冷たく「冬の間、ご飯の塊が胃に突き刺さる」と訴える人もいたほどです。

入管は名古屋市内にありますが、東海から北陸地方まで、広い地域を管轄しています。そのため、面会者のほとんどは遠方から来ています。それなのに、長時間待たされたあげく、面会時間はわずか15分。処遇規則には「30分以内だが状況により調節は可能」とあったため、私たちは30分の面会を要求し、実現しました。また、人道的な理由で収容が不適切と判断された場合、収容されている人が一時的に外に出られる「仮放免」という制度があります。仮放免の延長のためには、月に一度入管へ出頭しなければなりません。出頭命令書には日時が書かれているのに、実際に行くと3、4時間待ちは当たり前。私は「そういうものかな」と思っていたのですが、仙台や東京、大阪の入管では、「出頭する日が決まっているから、事前に書類を準備し、15～20分で終わる」と聞いたんです。さっそく、名古屋の入管に改善を求めると、1、2か月ほどで状況が変わりました。当時は、このような問題が多く、よく申し入れをしていました。

入管で3時間も待たされるのは、単にルーズだとか事務能力が足りないということではありません。これは、日本の入管独特の「文化」なのです。



まるで、時代劇で身分の高いお役人に会うために、何時間も待たされるようなものです。何かにつけて待たせ、すぐに対応しない。まさに封建的な文化がいまだに残っているようにうかがえます。

ビザの整備が進めば

入管を訪れると、さまざまな実態が見えてきます。収容されている人の中には、刑務所から来た人もいれば、真面目に工場で働いていた人、コンビニの帰り道で職務質問を受け、在留カードがないために収容された人もいます。彼らがビザを持っていないのは事実ですが、職場での勤務態度が良好だったり、地域社会と良い関係を築いていたりする場合も少なくありません。

在留カードは闇市場での売買をはじめ、中には偽造カードを外国人に渡す派遣会社までも存在し、それらを使って働く人が多くいます。技能実習生の失踪や逃亡の話も耳にしますが、実習生の中にはブローカー（仲介業者）に借金をしている人もいます。例えば、忙しい時期だけ人手がほしい農園や水産業も、技能実習制度では最低でも1年間雇わなければなりません。そのため、繁忙期は給料が支払えるけれど、閑散期には仕事がなく給料も出ないという問題が生じるのです。借金を抱える実習生には、返済の義務が重くのしかかってくるのです。

裏を返せば、外国人労働者の需要は高いのに、適切な就労ビザがない。つまり、ビザの「不整備」だと思います。韓国では、企業が国内で人材を確保できない場合、ハローワークのような機関が海外からの求職者を斡旋しています。日本もブローカーを介さない外国人雇用システムを作るべきではないでしょうか。

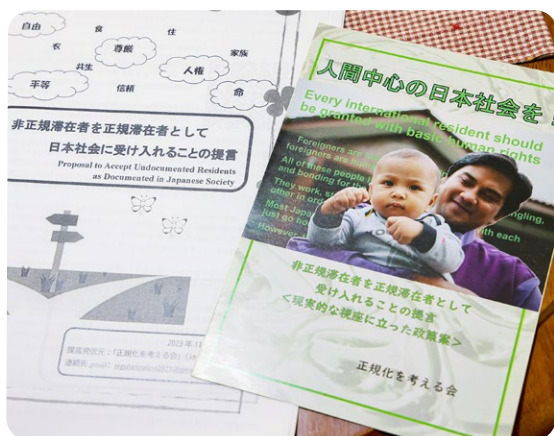
人間が中心である社会へ

現在、収容された外国人が施設を出る方法として、「仮放免」の他に「監理措置」があります。どちらも施設を出るという点は同じですが、制度が異なります。仮放免は収容を前提に一時解放し、月ごとに更新が必要です。一方、監理措置は収容の

代替措置で、入管が監督する代わりに、本国送還の手続きが整うまで、監理人が外部で監督します。監理措置は仮放免より遥かに早く2ヶ月前後で収容所を出られるため、多くの人はすぐに監理措置を申請します。

しかし、仮放免や監理措置で収容所を出たとしても、彼らは就労が禁止されており、住民票登録も保険加入もできません。資本主義社会では、「自分で稼いで自立する」のは人間として当たり前のことですよね。仮放免には身元保証人が必要ですが、過去には名義だけ貸され、その後は放置され、空腹のあまりコンビニでおにぎりを盗んだり、路上で亡くなったりした外国の方もいました。1人の人間が日本の社会に存在している以上、どのような状況であれ、彼らが生活できるよう人権を保障することこそに焦点を当てるべきだと考えています。

15年間、収容された外国の方々と接してきて、私がたどり着いた結論は、彼らの人生は、それぞれに波乱に富み、グローバルであり、われわれの想像を超えた経験をもっています。彼らは皆、「違法滞在」をしてしまったが、その本質は「不器用に幸せを求める人間らしさ」ではなかったのでしょうか。貧しい国では、何が何でも日本で働き、家族を支え、自身の将来を少しでも良くしようと必死に生きています。しかし、現実には、誰もがみんな大学を出て立派な職に就けるわけではありません。思うようにいかない人生を歩んできた人もいます。



私自身、外国の方と交流するまでは「収容所」の存在を知らず、今でも異文化を完全に理解するのは難しいと感じています。「こういう考えの人もいるんだ」という気持ちで異文化を受け入れ、違いを知ることを楽しんでいます。面会活動をしていると、収容されている彼らを外に出してあげたいと強く願うこともあります。私には経済的な支援も住まいの提供もできません。そのため、これまで彼らの保証人や監理人になったことはありません。その分、彼らから頼まれたことはできる限り引き受けるようにしているんです。

結局、「制度を優先するのか、それとも人間中心の社会を目指すのか」という大切な問いに行き着きます。私たちは、国や自治体にはあくまでも「人間を中心とした社会づくり」を進めてほしいと思っています。

本の紹介

生きとし生けるもの：入管ウォッチャー15年の面会報告

●著：西山 誠子 ●出版社：風媒社 2025年 ●価格：¥1,980(本体¥1,800)

『国境は人間の尊厳の境界ではない。これは正規の滞在資格を持たない、あるいは失った外国人たちの日本滞在を強く望む実際と、それに寄り添いたいと思った私の記録である。名古屋入管内に収容されている外国人との面会活動を15年、彼らとの対話を重ねてきた著者の面会報告である。人権保護の及ばない特異な組織の素顔と、囚われた人たちの人生の真実をものがたる』



Information

入管面会活動「フレンズ」

●Tel：090-8076-7624 ●E-mail：n-al@nifty.com ●Facebook(フレンズ名古屋)



だれも一人にしない 外国人と社会をつなぐ架け橋

直面する困りごとに寄り添う最前線

「家がない」「食べ物がない」。そんな切羽詰まった声に応えるのが、外国人ヘルプライン東海です。後藤さんによると、相談は本人だけでなく、行政の担当者や支援者から寄せられることも多いそうです。内容は生活に関する困りごとが中心で、多い相談は「仕事に関すること」と「在留資格に関すること」です。

仕事を失うと同時に住まいを失い、さらに在留資格まで危くなる人は少なくありません。そんなときは行政の制度につなぐだけでなく、一時的に食料やお金を渡すこともあります。日本人と結婚しているなど、在留資格が安定している人は生活保護を受けられる可能性があり、まずは生活を安定させた上で仕事探しにつなげていきます。

一方で、もっとも厳しいのは在留資格のない人たちです。働くこともできず、行政のサービスも受けられません。帰国できない、帰りたくないという事情を抱える人もいます。そうした現実を前に、「在留資格のない人を支援することについて、批判する人もいますが、相談に来られたらやはり何かせざるを得ないんです」と後藤さんは語ります。



ヘルプライン東海を知るきっかけは、インターネットで検索するよりも仲間同士の口コミが多いそうです。情報が届きにくい状況だからこそ、現場での支援が欠かせません。国によって複雑な背景を抱える人々に向き合うには、柔軟で丁寧な対応が求められます。

コミュニティと行政のはざまで

外国人の困りごとは、言葉の壁によってさらに大きくなります。フィリピンやペルー出身の人は日本語を話せる人も多い傾向ですが、行政の窓口で自分の状況を制度に沿って説明できないと、なかなか支援につながりません。「本来受けられるはずの制度が、説明不足で利用できないことがあるんです」と後藤さんはいいます。

また、行政職員の対応もさまざまです。「働けそうだ」と判断されて追い返されることもあります。そんな時、支援者が同行すれば「ここは伝えなければならない」という点を補い、相談者を助けることができます。外国語で落ち着いて状況を説明するのは難しいからこそ、サポート役が必要なのです。

外国人コミュニティのリーダーたちは、これまで多くの仲間を助けてきました。しかし行政がその役割を「押し付ける」形になるのは望ましくありません。フィリピン人のコミュニティでは、日本語を話せる人が増え、役所に直接相談できる機会も広がっています。一方でブラジルやベトナム、ネパールの人たちは、まだ情報がコミュニティ内にとどまりがちです。コミュニティリーダーを支えていきたいと話した後藤さんですが、一方、行政が丸投げするのは違うとも。

実際、市役所を訪れた相談者が「ヘルプライン東海に電話してください」とだけ言われるケースも多いそうです。本来なら、通訳を手配する、相談内容を丁寧に聞くなど、市役所自体にできることがあるはずで

東海地域で暮らす外国人の中には、突然の失業や病気、あるいは在留資格の問題などで生活の基盤を失ってしまう人が少なくありません。そんなとき、困った人に寄り添う活動を続けているのが「外国人ヘルプライン東海」です。だれも一人にしない多文化共生社会を目指すという理念のもと、支援の現場から見える課題、そして未来への展望について、代表の後藤さんにお話を伺いました。



す。「丸投げ」ではなく、行政とNPOが協力して最後の一步を支えることが本来の姿です。

行政とNPOの立場の違いも大きな課題です。行政は制度に沿って動きますが、NPOは人も資金も限られているにもかかわらず、1件の相談に多くの時間と労力を割かざるを得ません。

そこで「NPO発!外国人相談ガイド」を作り、支援団体やボランティアが「まずどこに連絡すればいいか」を把握できるようにしました。ガイドは英語やポルトガル語、スペイン語、中国語などで用意され、わかりやすい図とともに生活困窮や虐待、学校のことなど幅広いケースに対応しています。

ヘルプライン東海には13の言語に対応できる通訳や相談員が登録しています。ボランティア登録者は200人以上いますが、仕事を持っている人も多いため、平日常動ける人を調整するのが難しい場合もあります。相談対応については、そのほとんどを5人ほどで支えており、日々の緊急対応で手一杯となり、長期的な自立支援や地域に根ざした活動にまではなかなか手が回らないのが現実です。「人を増やすには資金が必要ですが、寄付や助成金を集める時間すら十分に取れません」と後藤さんは打ち明けます。制度が変われば研修や会議に出る必要もあり、その時



間の確保にも苦労しています。通訳や相談員を希望して登録した人が「思った以上に責任が重い」と驚くことも多く、長く関わってもらう工夫も必要です。

一歩の支援が社会を変える

活動が続けるなかで、ボランティアや市民活動のあり方も変わってきていると後藤さんは感じています。以前に比べて、「自分がやりたいからやる」という熱意が強い人が減っており、自分ができると決めてしまう人が増えたように感じるそうです。ルールに従って対応することは得意でも、相手の状況に踏み込む姿勢が弱いと感じることもあります。

人を助けることは誰にでもできます。大切なのは「目の前の人がいちばん困っていることは何か」「その人にとって一番必要なことは何か」を考えることです。制度や団体の枠を意識しつつ、自分にできることを整理すればいいのです。行政のベテラン職員の中には、制度を超えて柔軟に支える人もいます。一方で「決められた業務で終わり」という職員の姿勢も目立ち、その対応の差を感じる場面もあるといいます。

「市民活動は、一人ひとりの支援から始まり、やがて社会の仕組みを変えていくことにつながるはずで

NPO法人外国人ヘルプライン東海
住所：〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3
YWCAビル7F 名古屋NGOセンター内
(地下鉄栄駅 東5出口から東へ3分)
代表：後藤 美樹
TEL：090-3968-5971 Mail：fhelpline.info@gmail.com

沿革
2013年 任意団体「外国人ヘルプライン東海」発足
2014年 コープ本店で相談会をスタート
2018年 現事務所へ移転
2024年 法人格取得

対応言語
日本語、英語、フィリピン語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、ネパール語、ベトナム語、ミャンマー語など。

寄付へのご協力をお願い
当団体は皆様からの寄付で運営しております。
会員募集 会費 1口2000円～

金融機関名：GMO あおぞらネット銀行
支店名：法人営業部
口座番号：普通預金 1912002
名義：特定非営利活動法人外国人ヘルプライン東海

Facebook Messenger LINE
WhatsApp WeChat

**だれも一人にしない
多文化共生社会を目指します**

私たちは、日本で生活している外国人の方々のために、
悩みの相談のったり、通訳や翻訳を行っている団体です。

NPO法人
GAIKOKUJIN HELPLINE TOKAI
外国人ヘルプライン東海



す」と後藤さんはいます。現場で感じた「これはおかしい」という思いを社会に伝えることが、制度の改善や見直しにつながります。小さな一歩でも、積み重ねれば社会を変える力になると信じているのです。

外国人を支える活動は、日本社会そのものを見直すことでもあります。「問題意識を持ち、小さな行動でも必ず社会を変える力になる」と後藤さんは語ります。通訳を通じて初めて行政サービスを受けられた人や、コミュニティのリーダーを支えることで多くの仲間が安心できた例は少なくありません。その一つひとつの積み重ねが、大きな変化を生み出すのです。「目の前の一人を助けることと、社会をより良くしていくこと。その二つを結びつけることこそが、外国人ヘルプライン東海の活動なのです」。後藤さんの言葉には、現場での経験と未来への強い思いが込められていました。



後藤さんからのお願いです

私たちが支援する人の多くは、突然の失職、DVや離婚、病気など、深刻な問題を抱えています。日本語がわからない、制度が複雑すぎて頼る人もいない…。そんな時、無料の相談会がその人の「人生を変える出会い」になることもあります。愛知・東海地域で暮らす外国人の方々に寄り添い、通訳・翻訳支援、多言語の無料相談会を続けるため、皆さまの応援をよろしくお願いいたします。

★寄付情報はこちら(ホームページ内)

【寄付のお願い 目標額：500万円】



Information

NPO法人 外国人ヘルプライン東海

<https://fhelplineinfo.wixsite.com/website-1>

電話：090-3968-5971

メールアドレス：fhelpline.info@gmail.com

カッテに社会派！ 映写室

Vol.16

スーパーマン

2025年：アメリカ 監督：ジェームズ・ガン

出演：デヴィッド・コレンスウェット、
レイチェル・ブロンズナハン、
ニコラス・ホルトイ

もっとも有名なヒーローと言っても過言ではない「スーパーマン」。2025年に日米同時公開された新作映画は、単にヒーローの活躍を描いたからだけではなく、ジェームズ・ガン監督が「スーパーマンは移民の物語だ」と語ったことでも話題になりました。

滅びゆく惑星からたった一人で地球に逃れてきた赤ん坊は、カンザスの農場で優しい夫婦にクラーク・ケントとして育てられ、成長しました。思春期になると、自分が他の子どもたちと違うことに気づき始めます。力を制御できず、周囲に打ち明けることもできない孤独の中で「自分は何者なのか」「この世界に居場所はあるのか」と葛藤します。その姿は、異なる文化や背景を持つ若者が、社会の中で自分のアイデンティティを模索する姿と重なります。クラークは「別の星から来たよ者」という出自を隠しながら、地球人（というかアメリカ人）として暮らし、新聞社で働き、地球のために戦います。スーパーヒーローとしての活躍は、誰かから報酬をもらっているわけではないので、移民である彼が地域貢献として行うボランティア活動とも言えますね。本作の中で、スーパーマンは数々の貢献、活躍にもかかわらず、フェイクニュースやSNSによる中傷によって、よからぬ意図を持っていると疑われます。それはあたかも、社会の一員として貢献している移民たちが、一部の政治家やインフルエンサーなどの言動に煽られて迫害される現代のアメリカを象徴しているかのようです。奇しくも同じ頃、日本では「〇〇人ファースト」という言葉が選挙戦で飛び交っていました。〇〇ファースト——その言葉は誰を「内」とし、誰を「外」とするかを問いかけます。守るべき共同体を強く意識する一方で、そこには排除の論理が潜んでいます。

では、ヒーローとは何を守るために戦う存在なのでしょう。スーパーマンが移民であるならば、日本の「ウルトラマン」はどうでしょうか。彼もまた遠い星から地球にやって来て、地球人と融合して怪獣と戦い、人々を救います。ウルトラマンは日本人ではありませんが、多くの人たちは疑うことなく彼を自分たちの「味方」として受け入れてきたのではないのでしょうか。

ヒーローの国籍や出自は物語の中では曖昧で、それよりも彼らが「何を守るか」「誰に寄り添うか」が重要です。スーパーマンもウルトラマンも「外から来た者」ですが、正義を体現する存在として、そして、彼らが暮らす地球の人々の味方として描かれています。「〇〇人ファースト」という言葉が声高に叫ばれる時代だからこそ、このヒーローたちの出自に目を向けたいと思います。「どこから来たか」よりも「何を守るか」。誰のために戦うのか。そんな視点が、未来を拓くために、今の私たちに必要なのかもしれません。



ライター・まち

2025年版「スーパーマン」には、スーパーパワーを持つとってもかわいいスーパードッグも登場します。やんちゃ過ぎるけど、愛嬌たっぷりでも憎めないスーパードッグの活躍も、ぜひ楽しんでいただきたいです。

地元企業の社会貢献活動について、各社の担当者に取り組みを紹介いただいております。
90回目となる今回は、一般社団法人DRCT(ダイレクト)です。

命を守り、未来を育む

一般社団法人DRCT

DRCT「災害復興協力チーム」は2021年に発足しました。東日本大震災の翌日に出勤した株式会社ハーツの社員の経験から、「大規模災害時の人命救助と被災者の食の確保」を最優先とし、大手スーパーA社と防災協定を締結しています。南海トラフ巨大地震は、最悪の場合、規模が大きく広範囲に及ぶため、救援や物資、人手が圧倒的に不足すると言われています。だからこそ、官民学の連携・協働が必要です。DRCTの活動の1つである学校防災講演では、避難所となる学校の生徒たちによる「管理・運営」を提案しています。

自分を守り・家族を守り・地域を守る

一 体験で学ぶ、防災の大切さ

年1回の防災イベント「たのしくマナ防災」は、「災害を知り・災害に備え・災害と闘う」をテーマにした、子どもから大人までが楽しく学べる「防災テーマパーク」です。第6回目となる「たのしくマナ防災2026」は、2026年4月25・26日に、鶴舞公園と公会堂を貸し切って開催します。

一 子どもたちの未来に光を

防災だけでなく貧困問題と教育支援にも力を入れています。「貧困の一番の原因は教育。国力は学力」と考え、年1回「子どもたちの社会見学」を開催しています。児童養護施設やひとり親家庭の子どもたちを毎年300人招待し、体験を通して子どもたちの未来と夢を広げるキック作りを行っています。第4回目となる今年は、9月14日に木下大サーカスと科学館へ招待しました。この活動に大きな化学反応を起こすために、皆さまのご参加・ご協力を心よりお待ちしております。



一般社団法人DRCT「災害復興協力チーム」

〒488-0826 愛知県尾張旭市大塚町1丁目12番1(株式会社ハーツ内)

TEL:052-737-1200 URL:<http://www.drct.jp/>

● ● ● ● ● 次回は、株式会社東名をご紹介します。

あなたの街のボラスポ紹介!

ボランティアやNPOの情報を得ることができる
あなたの街のボランティアスポットを紹介していきます。

江南市地域交流センター



かかわって、つながって、にぎわって、ずっと、わくわく。
ずっと、いきいき。

江南市地域交流センターは、多様な主体の交流の場、市民活動の拠点です。

市民活動団体や、区・町内会等の自治会のサポートなどを行っており、運営に関する相談や、活動を広めるイベント(展示やワークショップ、セミナー)の企画など、いきいきとした地域づくりに取り組んでいます。

また、オープンスペースや貸会議室、イベントなどに利用できる駅前広場があり、色々な方が気軽に利用できます。

- 所在地: 愛知県江南市北山町西300番地 toko*toko=labo(布袋駅東複合公共施設)1階
- 連絡先: (TEL)0587-58-5771 (E-mail)info@konan-koryu.jp ■ HP: <https://www.konan-koryu.jp>
- 開館日: 9時~21時30分 ■ 休館日: 木曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日~1月4日)





「シビックテック」ってご存知ですか？直訳すると「市民技術」とでも言いましょうか。市民や行政とIT技術者が協力しつつ、ITをうまく活かして社会課題に取り組む活動です。2013年にCode for Japanという団体ができた後、「Code for OO」という団体が日本中に80ほど生まれ、各地でシビックテック活動に動んでいます。この連載では、名古屋のシビックテック団体Code for Nagoyaの関係者が、いろいろなシビックテック事情をご紹介します。

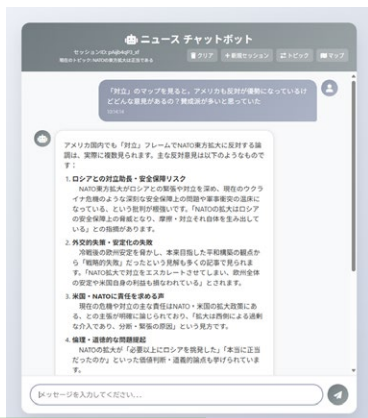
今号では、名古屋工業大学博士前期課程2年の櫻井崇貴さんに、国際的なニュース記事を多視点的に理解できるよう支援するシステムの研究について、ご紹介いただきます。

ニュースの偏りと私たちの課題

国際的なニュースは、国や地域によって報じられ方が大きく異なります。これは単なる事実の報道の仕方の違いだけでなく、その国の政治的・経済的立場、歴史的な経緯、文化的背景などが影響しているからです。例えば、同じ移民政策や紛争に関するニュースでも、ある国では経済的影響を中心に伝え、別の国では人道的な側面を強調します。賛成・反対の論調が真逆になることも珍しくありません。こうした違いに無自覚なまま情報を受け取ると、知らず知らずのうちに偏った見方をしてしまうおそれがあります。

可視化で多視点理解を支援

私たちの研究では、大規模言語モデル(LLM)を用いて様々な国のニュースを自動収集・分析し、「経済的影響」「対立」「人道的関心」「道徳」「責任の所在」といった複数の視点ごとにニュースを整理し、賛成・反対・中立のスタンスを判定する仕組みを開発しています。その結果を地図やグラフで可視化することで、ユーザが俯瞰的に各国の報道傾向を比較し、異なる国の見方に触れられるようにしています。



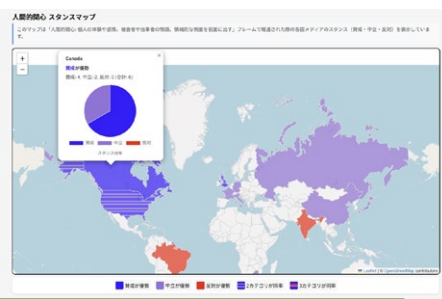
情報推薦エージェント

ユーザと一緒に深掘りする情報推薦エージェント

さらに、地図を見て興味を持った国や論点について、ユーザが対話形式で深掘りできる情報推薦エージェントも組み込んでいます。このエージェントは、可視化に用いたニュース記事や視点ごとの分析結果を保持し、ユーザの質問に応じて関連情報を提示します。例えば、「この国ではどんな理由で反対意見が多いの?」「他の国と比べるとどう違うの?」と尋ねると、反対の理由を示す記事や、他国との違いをまとめて教えてくれます。必要に応じて新たにWeb検索も行い、最新情報も含めて柔軟に解説します。これにより、ユーザは一方的に情報を受け取るだけでなく、能動的に比較や検討ができ、より多面的な理解につながります。

地域課題や移民・難民問題への応用

国際ニュースの多視点理解は、グローバルな課題に取り組む第一歩です。移民や難民に関する報道は、国や地域ごとに論調や背景が異なることが多く、受け手の意見形成にも大きく影響します。今回の研究の成果は、地域の外国人住民に関する報道や政策を多様な視点から理解する手助けにもなり得ます。こうした研究を通じて、私たち自身が一方に偏らず、多様な立場や考え方を踏まえて物事を考えられるようになることを目指しています。



国際的なニュースのスタンス分析の可視化例

ボランティア情報

ホームページにも情報満載！
http://www.boramimi.com

ボランティア初めの一步 大切なマナー&ルール

- さまざまな状況により、変更・中止となる場合もあります。必ず事前に各団体にご連絡ください。
- 希望のボランティア先へ連絡するときは、まず名前を名乗って、用件（ボランティアに参加したい・詳しく聞きたい）を正確に伝えましょう。
- ボランティアへの参加当日、急用で参加できなくなったときは、必ず電話連絡を。また、約束の時間は守りましょう。



来場1000人超え！子ども向け大規模イベントボランティア募集



会場一面がオレンジに!?名古屋の子育て世帯あつまれ！音楽、縁日、クイズ大会など。親子でふらっと遊びに来られる子ども向けイベント。子育て相談ができるブースも実施。来場特典は先着でみかん飴プレゼント！子どもと関わるのが好きな方、児童虐待というテーマに関心・学びを得たい方にオススメ！

青少年
人権
平和

名古屋市
港区

- 日 時：11月30日(日)10:00~16:00
- 場 所：ららぽーと名古屋みなとアクルス内 屋外イベントスペース「デカゴン」名古屋港区港明2-3-2
- その他：2次元コード、Eメールでお申込み。昼食支給、ボランティア証明発行可、メチまでに申込みの方クオカード1000円分進呈、オレンジ色の服がある方はその服でお越しください。【資格、条件等】無断欠席・遅刻しない方【申込メチ】11月14日(金)【定員】20名・先着順

スマイルリターン

担当:NANA

E-mail:smilereturn.official@gmail.com



みんなのひろば(福祉報告会&なないろコンサート)2025



障がいのある人たちが生活する場の選択肢の一つである「北名古屋市及び周辺のグループホームの現状」の報告と1981年から開催しているなないろコンサートを行います。その会場や舞台の準備を手伝ってくださる方を募集いたします。

障害者
まち
づくり

愛知県
北名古屋市

- 日 時：12月6日(土)9:00~17:00
- 場 所：北名古屋市総合福祉センターもえの丘健康ふれあいルーム
北名古屋市熊之庄大畔48
- その他：Eメールにてお問合せ、お申込みください
【子ども連れでの参加】可能【定員】5名程度【申込メチ】12月4日(木)

なないろコンサート実行委員会

担当:事務局 丹下(たんげ)

FAX:0568-25-4863

E-mail:tantantontan@yahoo.co.jp



ホームレスの自立支援



雑誌『ビッグイシュー』を販売するホームレスを支援するボランティア団体です。ボランティアとともに販売者も運営に携わり活動しています。ボランティアは夕方の雑誌の仕入れや、イベント準備、販売促進ツール作り、生活支援も大切にしています。雑誌に挟み込む通信を制作して下さる方も募集中です。

人権
平和
文化

名古屋市
西区

- 日 時：15:00~17:00頃、特に発売日前日(毎月14日と月末)に来ていただける方を募集しています。
- 場 所：オキナワ食堂ばやパーラー内
名古屋市西区那古野2-16-7
- その他：必ず事前にEメールで連絡をとってからお越しください。活動資金として、事務所の家賃、電話代、販売者さんへの生活支援等への寄付も募集しています。
【子ども連れでの参加】可能

ビッグイシュー名古屋ネット

担当:阿部

携帯:070-6929-7688(緊急時のみおかけください)

E-mail:bigissue_nagoya@yahoo.co.jp



演奏を楽しみながらボランティア!



障害のある人たちが手作りしたケーキ&珈琲で、生の演奏とおしゃべり。ウェイトレスをやって下さるボランティアを募集しています。演奏を聴きながら、ボランティアしてみませんか?"

障害者
まち
づくり

名古屋市
西区

- 日 時：毎月第1土曜日12:00~16:00
11月1日(土)ヴォーカル&ジャズピアノ
12月6日(土)クラシックピアノ 他
- 場 所：サロンうたさと 名古屋市西区歌里町147
- その他：電話にてお申し込みください。定員2~3名
【最寄り駅】地下鉄鶴舞線「庄内緑地公園」徒歩約15分
市バス「歌里町」「山田東中学校」それぞれ徒歩約5分

エゼル福祉会

担当:大川

TEL:052-505-6082(平日9:00~17:00)

E-mail:convini@ezeru.or.jp



黒川日本語教室ボランティア募集



日本語を母語としない外国人に、日本語を教えています。いろいろな国の人たちに日本語を教え、日本での生活がより一層充実したものになるのを支援しています。ひらがな、カタカナの読み書きから、「みんなの日本語」をテキストにした文法や会話、漢字の読み方、書き方などを教えています。

国際

名古屋市
北区

- 日 時：毎週木曜日、18:30～20:15
(夏休み、年末年始の休みなどがあります)
- 場 所：名古屋市総合社会福祉会館6階、7階
名古屋市北区清水4-17-1
- その他：Eメールにてお申し込みください。【持ち物】筆記用具
【資格、条件等】日本語を教えた経験のある方、資格のある方、継続的に参加していただける方【定員】5名

黒川日本語教室

担当：田口
携帯：080-3687-5658 (8:00～20:00)
E-mail: uedamatuitakahashi@hotmail.co.jp



将棋指導ボランティア募集



将棋指導のボランティア活動をしています。活動は、毎月2回、第2、第4週の土曜日から日曜日の午前中です。ただし、諸事情により日程は変更になる場合があります。参加して頂ける方は見学にお越しください。

生涯
学習

文化

名古屋市
昭和区

- 日 時：11月15日(土)・22日(土)、12月14日(日)
1月11日(日)・24日(土)
- 場 所：岡谷銅機名古屋公会堂
名古屋市昭和区鶴舞1-1-3
- その他：当日、見学にお越しください。できればメールにて連絡いただけたら助かります。【定員】若干名【最寄り駅】地下鉄・JR 鶴舞駅 徒歩2分

日本将棋連盟名古屋鶴舞インターナショナル支部

担当：柳瀬(やなせ)
携帯：090-5114-2954 (9:00～20:00)
E-mail: nagoyaint@gmail.com



ALOE(海外生活体験のある女性の会)会員募集中



海外で生活をしたことのある女性の集まりです。現地で実際に見聞した人々の生活や、彼等との交流から学んだボランティア精神を日本の社会でも活かせたらという思いで、1985年春に誕生しました。主な活動は、日本語教室、海外赴任前後サポート、国際交流イベント参加や開催などです。

国際

名古屋市
中区

- 日 時：【例会】毎月第3木曜日12:30～(12月、3月は10:30～)
【日本語教室】毎週木曜日10:30～12:30 他開催スケジュールはHPをご覧ください。
- 場 所：あいち国際プラザ 名古屋市中区三の丸2-6-1
- その他：2次元コードの「お問い合わせ」または、Eメールからお問い合わせください。【参加費等】年会費3000円【資格、条件等】海外生活1年以上の女性

ALOE(海外生活体験のある女性の会)

担当：小林
E-mail: aloenagoyavol@gmail.com



『学習支援・子ども食堂サポーター』募集



勉強を教えるのではなく一緒に答えにたどり着くような、どなたにでもできるサポートです。学び直し、教育や福祉に関心のある方におすすです。併設の子ども食堂のお手伝いも募集。様々な大学の仲間と一緒に子どもたちを応援しましょう!

※尾張旭市まちづくり活動貢献学生認定制度」の対象

青少年
生涯
学習

愛知県
尾張旭市

- 日 時：毎週土曜日8:30～16:30
- 場 所：多世代交流館いきいき
尾張旭市稲葉町1-41-1
- その他：2次元コードよりお申込みください。地下鉄東山線「藤が丘駅」、名鉄瀬戸線「尾張旭駅」より送迎有。ボランティア活動証明書発行。交通費実費支給、子ども食堂の昼食付き。【持ち物】筆記用具

NPOしみんシップnet

担当：伊藤
携帯：070-3144-6485
E-mail: shiminship@gmail.com



NPO法人・一般社団法人

設立・会計・税務等の支援をします
お気軽にご相談ください

サカイ税理士法人 税理士・公認会計士 遠島敏行
名古屋市中村区黄金通2-54 TEL: 052-482-6600
URL: <http://www.sakaetax.com>
<http://www.seturitu-unei.com/>
E-mail: info@seturitu-unei.com

地域に根差す 社会貢献企業へ

2021年2月 SDGs宣言

ニーズに応える印刷会社

デジタルコンテンツ・AR(拡張現実)等

オフセット印刷

商業印刷全般

セキュリティ印刷

金券、商品券、証明書等

防災マニュアル・飲料水



菱源株式会社

<https://hishigen.co.jp>

〒490-1144 愛知県海部郡大治町西條松75
TEL: 052-444-2323 FAX: 052-444-2636
【東京営業所】TEL: 03-5577-5686

●菱源株式会社は「ボラみみ」を応援しています。

ISO14001:
2015認証取得



気軽に
お問い合わせ
ください

一宮のまちづくりスタッフ募集



一宮市でのまちづくり活動に関わりませんか。チラシ配布などの簡単な軽作業から、イベントの企画・運営、デザイン、開発まで、様々な参加の形があります。「杜の宮市」「まちの宮市」「ラブたな」などのイベント、「一宮市市民活動支援センター」や「com-cafe三八屋」など、様々に活動しています。

まちづくり 団体支援

愛知県
一宮市

- 日 時：木曜日19:00～21:00の定例ミーティング
その他随時(自由参加)
- 場 所：i-ビル、一宮市市民活動支援センター 一宮市栄3-1-2
プリンスアレイ、本町通り 一宮市本町3-3-30
com-cafe三八屋など 一宮市本町4-1-9
- その他：2次元コードの「まちズン」ページからお申込みください。
【定員】20名

NPO法人志民連いののみや

担当：星野

携帯：090-2265-9188(出ない場合は留守電を)

E-mail: info@shimin.org



問合せ

岐阜県御嵩町での森林ボランティア活動(11月)



岐阜県御嵩町にあるヒノキ林の枝打ち・間伐を、月に1回(第2土曜と翌日の日曜)に行います。また、木工や製紙原料としての出荷など、間伐材の利用にも取り組みます。御嵩町は、名古屋地区の水源地となっている木曽川の上流にあります。私たちの「水源の森」の整備にぜひ力を貸してください。

環境

岐阜県
可児郡

- 日 時：11月8日(土)・9日(日)10:00～16:00ごろ
(いずれか1日だけの参加も歓迎です)
- 場 所：御嵩町「中公民館(なかこうみんかん)」駐車場集合
岐阜県可児郡御嵩町中2171-1
- その他：Eメールにて一度ご連絡ください。【参加費等】保険費用として100円【持ち物】軍手、山歩きのできる服装(長袖)、昼食【子ども連れでの参加】可能【定員】30名・先着順

みたけ・500万人の木曽川水トラスト

担当：市村

TEL:052-735-5453(平日9:30～18:00)

E-mail: mitake500npo@yahoo.co.jp



問合せ

中川区荒子で日本語ボランティア体験 初心者歓迎 11～12月



中川区荒子の日本語教室で、外国の方が、文字やあいさつ、文法や会話の勉強をしています。日本語を教えてくださいのボランティアを募集しています。初心者の方歓迎です。教え方などはテキストに沿ってくわしく説明させていただきます。※中川区区内など近隣に在住の方限定です

国際 まちづくり

名古屋市中川区

- 日 時：11月2日(日)・9日(日)・16日(日)、12月7日(日)・14日(日)・28日(日)9:45～12:00
- 場 所：中川区社会福祉協議会 研修室・調理室・ボランティアルーム
名古屋市中川区小坂町1-1-20
- その他：Eメールで、お名前、連絡先(お電話またはメールアドレス)、ご住所(町名まで)、参加希望日をお知らせください。【持ち物】筆記用具【子ども連れでの参加】可能【定員】1～2名(1日あたり)

ながわにほんごサロン

担当：おざき

TEL:070-5642-2716

E-mail: nihongo.nakagawa.moriyama@gmail.com



問合せ

ベトナム青年に日本語を教えるボランティア体験 11～12月



名古屋のベトナム青年等に日本語を教えるボランティア体験です。初めての方歓迎です。謝礼交通費はありませんが、ベトナムのコーヒーとお菓子のサービスがあります。土曜日の体験に2回参加できる方。すみませんが、1回のみは不可です。初日集合時間は18:15です。

国際 生涯学習

名古屋市中南区

- 日 時：11月1日(土)・8日(土)・22日(土)・29日(土)、
12月6日(土)・13日(土)・20日(土)18:30～20:45
- 場 所：名古屋市南生涯学習センター 第3集会室ほか
名古屋市中南区東又兵衛町5-1-10
- その他：Eメールで、お名前、Eメールアドレスまたは電話番号、勤務先名(学生の場合、学校名と学部名)参加希望日(2日分)、簡単な自己紹介を書いてお申込みください。
【定員】2名

チュンタムみなみ日本語教室(758ベトナムネット)

担当：荒川

携帯：070-5642-2716

E-mail: 758vietnam.net@gmail.com



問合せ

長い間、ご愛読ありがとうございました

未来をつむぐライフマガジン

ボラみみ

は休刊します

諸般の事情により、未来をつむぐライフマガジン『ボラみみ』は2026年3・4月号をもって休刊することとなりました。これまでご支援を賜りましたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

残り2号、
感謝の気持ちを込めて
お届けします



子どもと遊ぶボランティア募集



青少年

名古屋市内

名古屋市内の小学校や施設で子ども向けに工作やレクゲームを行っています。『子どもと遊ぶのが好きな大人の集まり』という感じでマッタリと活動しております。子どもと遊ぶのが好きな方、学校の先生を目指している方には子どもとふれ合えるいい機会が得られると思います。ぜひ一度、お越し下さい。

- 日 時: 基本月1回(第3土曜日) 13:30~15:30
※例外もあり。
- 場 所: 名古屋市西区浮野小学校トワイライトルーム及び生涯学習センターなど。
- その他: 2次元コードの『ボランティア募集』欄よりお申込み下さい。ご質問はメールにてお願いします。最近の活動はフェイスブックに更新されています。

わいわいボランティア

担当: 村山
E-mail: yy_volunteer2007@yahoo.co.jp



人形劇団紙風船 公演ボランティア募集



障害者

文化

名古屋市港区

クリスマス公演のお手伝いを募集します! 舞台の設営、撤収、当日の会場整理などをお願いしたいと思います。車椅子のメンバーが人形を操る人形劇団です。一緒に楽しい時間を創りましょう! 公演後にクリスマス交流会を行う予定です。参加は自由です。詳しくは紙風船の服部までお問い合わせください。

- 日 時: 12月21日(日) 9:00~15:00頃(公演は午前中。その後交流会開催予定です。公演だけのお手伝いでも結構です。)
- 場 所: 東築地防災センター 名古屋市港区木場町9-10 及び
デイセンター愛実 名古屋市港区木場町9-24
- その他: 電話、Eメールにてお申込み下さい。【持ち物】タオル、飲み物など【子ども連れでの参加】可能
【申込〆切】11月21日(金)

認定NPO法人 愛実の会 人形劇団 紙風船

担当: 服部
TEL: 052-693-5897(月~土曜日9:00~17:00)
E-mail: ami_kamifuusen@yahoo.co.jp



【参加者募集開始!】WAFACAインドネシアスタディツアー



国際

障害者

インドネシア

アジアの障がい児支援や地域の取り組みを現地で直接見て学び、交流できる貴重なプログラムです。国境を越えたつながりや共感を育むチャンスを、ぜひ一緒に体験しませんか。◆ツアー概要: 障がい者支援団体や学校の訪問、現地関係者との交流。説明会も開催しておりますので気軽にお問合せください。

- 日 時: 日程A(学生お勤め): 2026年2月11日(水)~17日(火)(6泊7日)
日程B(社会人向け): 2026年2月11日(水)~15日(日)(4泊5日)
- 場 所: インドネシア(ジャカルタなど)
- その他: 2次元コードもしくは、電話、Eメールにてお申し込みください。【参加費等】7万~8万円(予定)【資格、条件等】WAFACA会員(学生年会費1000円、一般年会費3000円)【申込〆切】2025年12月16日(火)【定員】20名 先着順

NPO法人アジア車いす交流センター(WAFACA)

担当: 北村
TEL: 0566-23-5822(8:40~17:40)
E-mail: contact@wafca.jp



人権啓発キャラバン2025ワークショップ



人権平和

障害者

名古屋市東区・愛知県刈谷市

~部落差別と外国人の人権課題から、人権の「交差性」をひもとく~わたしやあなたの人権は守られているでしょうか? 人権を守られていない人は誰でしょうか? 人権を守るとは、差別を終わらせるとは、わたしたちが何をすることなのかを考えます。聞いて話して考えて、人権のための行動を広げましょう!

- 日 時: 第1回 部落差別と若者/子ども 11月23日(日・祝) 13:30~17:00
第2回 外国人とまちづくり/障害児 12月21日(日) 13:30~17:00
- 場 所: 第1回 ウィルあいち 名古屋市東区上笠杉町1
第2回 刈谷市総合文化センターアイリス 刈谷市若松町2-104
- その他: 2次元コードからお申込みください。【参加費等】参加費無料【申込〆切】各回開催日の前日

NPO法人NIED・国際理解教育センター

TEL: 070-5333-5566
E-mail: nied@love-hug.net



『ボラみみ』を復刊させたい!

発行には1号あたり
約10万円の費用がかかるみたい



ご寄付のおねがい

『ボラみみ』休刊の大きな理由の一つは、発行費用の確保が困難になったことです。でも諦めたくありません。その想いで私たちは挑戦を続けます。皆さまからの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

■お振込み先

特定非営利活動法人ボラみみより情報局
・郵便振替口座 00830-9-71304
・三菱UFJ銀行 柳橋支店(普)1799329



新規・継続会員登録の方々（順不同）

■法人正会員：

【継続】●名古屋大学医学府附属病院様
●トヨタ車体株式会社様

■団体正会員：

【継続】●特定非営利活動法人名古屋おやこセンター様
●特定非営利活動法人チャイルドラインあいち様
●守山区ボッチャ協会様

■個人正会員：

【継続】●小野地 光弘様 ●島崎 拓様 ●織田 元樹様
●匿名2名

■法人賛助会員：

【継続】●社会福祉法人楠福祉会 あじま作業所様
●あいち銀行従業員組合様
●社会福祉法人小牧市社会福祉協議会様
●社会福祉法人てとろ様

■団体賛助会員：

【継続】●特定非営利活動法人地域福祉サポートちた様
●特定非営利活動法人ポトスの部屋様

■個人賛助会員

【継続】●岩瀬 百合枝様 ●稲熊 良彦様
●小松 友子様

■寄付

●匿名46名



「ボラみみ」配布先

ー詳細はホームページにて掲載中！ー



●WEBより

<http://www.boramimi.com/haihu/>

●携帯より



QRコード



みんなの声

●匿名

いつもありがとうございます。ボラみみを見て、お料理ボランティアに来てくださった方がいらっやいます。掲載ありがとうございます。

●匿名

多くの方に知っていただきたいから今後も掲載したい。

●名古屋障害者青年学級連絡協議会様

情報発信の機会をいただける貴重な場なので、冊子の休刊は残念です。

●特定非営利活動法人風の会 ふきのとう様

たくさんの方々に知っていただけるきっかけになっていると思っています。今後行事やボランティア募集の掲載をお願いしたい。いつもありがとうございます。今回は、残念なことに問い合わせの連絡がありませんでした。今、ボランティアさんの確保はなかなか難しいのですが、今後も募集の掲載をお願いしていきますので、よろしくお願いいたします。



編集後記



インターン I

ボラみみアワード候補団体の選出に立ち会わせていただきました。制作する号のテーマや構成を踏まえつつ、紹介したい団体を挙げていく中で、たくさんの方が様々な活動をしていることやその熱量を垣間見ることができました。ボラみみで紹介できる団体は限られてしまいます。紙面に載りきれない程のたくさんの方が誰かのために日々活動をしていることが多くの人に伝わってほしいと思いました。私自身、生きること、働くことを見直すとてもいい経験になりました。



次号予告

次号のテーマは「かけはし」。

2025年1月1日発行予定です。お楽しみに！

特定非営利活動法人
ボラみみより情報局

〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F TEL 052-228-7824 FAX 052-228-7834
E-mail office@boramimi.com URL <http://www.boramimi.com/> 代表 織田元樹 印刷 菱源株式会社

センター主催講座・イベントのご案内

11/12[土] NPOのための講座「NPOのための税務講座」

→ 13:30～15:30 (受付中)

NPO法人の運営には、日々の会計だけでなく、税務に関する正しい知識も欠かせません。本講座では、源泉所得税や消費税、収益事業と法人税の関係など、知っておきたい税務の基本から、実務で気を付けたいポイントまでわかりやすく解説します。非営利型一般社団法人や任意団体の皆さまにも役立つ内容です。

■定員：20名 ■参加費：1,000円 ■講師：堀尾 博樹氏(税理士・行政書士)

11/19[水] NPO講座「NPO法人をつくろう」ゲストトーク編&法人設立編 ☆同日開催

→ 13:30～16:30 (受付中) ＊ゲストトーク編又は法人設立編のみの参加も可能です。

◆ゲストトーク編 <13:30～14:50>

基礎的な講義とNPOの運営や活動への思いなどを学べる講座です。NPOに興味・関心のある方、実際の活動の話を聞きたいという方はぜひ！

■定員：各30名 ■参加費：各500円(＊それぞれに申込と参加費が必要です)

■ゲスト：村松 香菜子氏(NPO法人愛知県健康管理士会) ■講師：市民活動推進センター職員

◆法人設立編 <15:00～16:30>

NPO法人の設立前に準備するものや書類作成のポイントを学べる講座です。自分たちでNPO法人を設立しようと考えている方はぜひ！

講座受講のお申込みは、窓口・電話・FAX・電子メールにて受け付けます。電子メール・FAXでお申込みの際は、講座名・氏名・電話番号・FAX番号・所属団体・参加動機をご記入ください。名古屋市内に在住、在勤、在学の方、または名古屋市内で活動している(活動する意思のある)個人・団体を対象とします。詳しくは、当センターのホームページをご覧ください。

※定員に達した時点で、締め切らせていただきます。ご了承ください。

11/29[土] ボランティア入門講座 ☆「ぼらマッチ! なごや2025」にて開催 ＊表紙参照

→ 第1回 14:30～
→ 第2回 15:30～ (事前申込み不要。当日、先着順にて受付)

ボランティアのスターター講座です。ボランティアに興味・関心のある方に、ボランティアの基礎や活動の探し方をご案内します。「ぼらマッチ! なごや2025」の会場で開催します。詳細は、表紙をご覧ください。

■参加費：無料 ■講師：市民活動推進センター職員

■会場：愛知大学 講義棟4階(「ぼらマッチ! なごや2025」会場)

■NPOのためのアドバイザー相談 【参加費：無料、要申込】

内 容	日 程	担当アドバイザー
会計・税務	11/12 [水] 16:00～	堀尾 博樹(税理士・行政書士)
会計・税務	11/21 [金] 15:30～, 17:00～	橋本 俊也(税理士)
設立・運営	11/27 [木] 16:00～	織田 元樹(ボラみみより情報局 NPOアドバイザー)
会計・税務	12/11 [木] 10:00～, 11:30～, 14:00～, 15:30～	鳥居 翼(税理士)
設立・運営	12/19 [金] 16:00～	織田 元樹(ボラみみより情報局 NPOアドバイザー)

問合せ
申込先

名古屋市市民活動推進センター

住所：〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18番1号

ナディアパークデザインセンタービル6階

電話：052-228-8039 FAX：052-228-8073

電子メール：npo@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

URL：https://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/



スタッフの
つぶやき

スタッフ：北川

思いもかけず、この欄を埋めるように仰せつかりました。締切は近づくものの、書くことが思い浮かびません。そうだ、最近流行りのAIに作成してもらおう!とも思いましたが、自制しました。人間を人間たらしめるためにも、失敗も遠回りも、無意味ではないはず。人間は、既存のものとの組み合わせによる効率化の追求だけではなく、もっと別の、新しい価値を創造できる、そう信じたい今日この頃です。



イラスト協力：加藤舞美

新しく認定NPO法人になった団体をご紹介します！

団体名 すけっとファミリー

- 主たる事務所：名古屋市瑞穂区
- 主たる活動分野：保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- 認定期間：令和6年3月29日から令和11年3月28日まで



Q：どんな活動をしているのですか？

A：すけっとファミリーは、名古屋市瑞穂区で、誰もが安心・安全に暮らせる地域と、人と人との“お互い様の”交流を目指して活動する団体です。主に、介護保険・障害福祉サービスの事業・施設運営、名古屋市委託の子育て支援事業を担いつつ、ママ食堂(子ども食堂)や子どもの居場所づくりなどの取り組みも他団体と連携して行っています。地域のみなさまの様々な手助け(すけっと)になるよう活動しています。

Q：なぜ認定を取ろうと思ったのですか？

A：すけっとファミリーは誰もが“住みやすい地域”を目指し、仲間の輪を広げていきたいと思っています。認定の取得には、事業活動や組織運営が適正であることや、広く市民からの支援を受けているかどうかが評価されます。取得することで社会的信頼性が担保され、地域の方々・企業などが安心してパートナーに選ぶ判断の一助に、さらに寄附をしてくださった場合には、相手と地域に豊かさを還元していける仕組み(税制上の優遇措置)があります。より多くの方々にすけっとファミリーのことを知っていただき、共に地域を豊かにしていくために取得しました。



Q：これから認定NPO法人を目指す団体にアドバイスをお願いします！

A：まずは市民活動推進センターに、認定NPO法人を取得したいという意思を伝えられると良いと思います。どのような準備が必要か、何を見ればよいかなど親切に教えてくれますし、センターが主催する取得のための講座もあります。提出する書類が1年で準備ができなければ、2年目に、2年で準備ができなければ3年目と、急ぐ必要はありません。1つ1つの準備が団体の力になります。まずはセンターにご相談を！

「すけっとファミリー」についてのさらに詳しい情報は、こちらをご覧ください。

- TEL:052-861-3980 ●FAX:052-861-6048
- ホームページ：<http://suketto-family.jp/>
- 団体詳細情報：<http://fields.canpan.info/organization/detail/1983700319>
- 問い合わせ：jimu@suketto-family



認定・特例認定・条例指定NPO法人の制度や申請方法、手引きについては、当センターホームページの専用ページをご覧ください。



7・8月の設立認証NPO法人



名 称	所在区	主な活動分野
U-CRANE	昭和区	人権擁護・平和推進
太陽金JP	中村区	社会教育
愛知精神医療人権センター	緑区	人権擁護・平和推進
あいち小児がんの会	西区	保健・医療・福祉
る・りあん	昭和区	子どもの健全育成
こいのぼり	守山区	保健・医療・福祉



8月末現在の所管法人数



認証法人数：890法人

認定法人数：32法人

特例認定法人数：2法人

ふるさとチョイスGCF

ガバメントクラウドファンディングに挑戦中

#

キーワード

NPO、まちづくり、子ども・教育、福祉・障がい、人権、貧困、自然・環境、国際協力、SDGs

市民のちからでいきいきなごや

名古屋市

市民活動
推進
センター



なごや『ふるさとNPOセレクト』 NPOを選んで応援しよう！

「あのNPO法人のこの事業なら、
興味もあるし、応援したい！」

目標金額

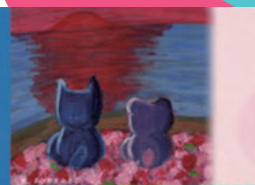
1法人 75,000～250,000円
総額2,000,000円

受付期間

2025年 9月30日 から
12月15日 まで

ご寄附の使い道

興味のあるNPO法人を選んで直接応援できるチャンス☆
様々な社会課題に向き合うNPO法人の活動にご注目ください。名古屋市で活動する9法人がエントリーしています。



本丸ネットワーク

尾張徳川歴史講座

HAPPY PLANET

河川ゴミ拾いin【庄内川】
(長須賀～万場エリア)

ビフレンダーズあいち 自殺防止センター

自殺防止のための
電話相談

RASA-Japan

ボランティア
応援プロジェクト2026

あなたの声

あなたの声「失語症」
啓発プロジェクト

The Music Restaurant

児童養護施設の子どもに
無農薬野菜を届け隊

東山動物園くらぶ

公開セミナー

こどものみらい プロジェクトゆめドリ

主体的に生きる力を育む
ドリームマップ授業

ポパイ

「表現する仕事」
画材購入プロジェクト

NPO法人やプロジェクトの詳細は、
当センター HPからご確認ください。



お申込みはインターネットが便利！ ふるさとチョイスガバメントクラウドファンディングへ

URL

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/4541>



なごや 市民活動通信

2025
11・12月号
No.120
無 料



市民のちからで
いきいきなごや

知ってみよう やってみよう

ボランティア

ボランティアマッチングイベント

ぼらマッチ!

なごや

参加費
無料

2025



宇佐美 歩さん



鷲見 菜那香さん



小塚 由樹さん



神田 浩史さん

「ボランティアをやってみようかな？」
ボランティアをしたい人と募集している
団体・施設とのマッチングイベントです。

★日時: 11月29日(土) 13:00~16:30 ※12:30~受付(4階)

★場所: 愛知大学 名古屋キャンパス 講義棟3階・4階

中村区平池町4-60-6(名古屋駅より徒歩15分、あおなみ線ささしまライブ駅より徒歩3分)



●ぼらトーク!

| 4階 | 13:00~14:30 |

社会貢献・ボランティア活動をしている人たちの話を聞いて
みよう!

●話し手 ※話し手は変更になる場合があります

宇佐美 歩さん(NPO法人東海つばめ学習会)

神田 浩史さん(NPO法人泉京・垂井)

小塚 由樹さん(シオン株式会社社祭祭部経営戦略室シオン倶楽部社会貢献担当)

鷲見 菜那香さん(愛知大学Aivo(ボランティアサークル))

●進行

田口 裕晃さん(NPO法人名古屋NGOセンター理事)

●団体・施設ブース

| 3階・4階 | 14:30~16:30 |

ボランティアを募集している団体・施設の方と直接話そう

32団体が
出展予定

●ボランティア入門講座

| 4階 | 14:30~、15:30~(2回開催) |

ボランティアの基礎や活動の探し方をご案内します

●体験コーナー

| 3階・4階 | 14:30~16:30 |

いろいろな活動を体験してみよう

●個別相談コーナー

| 4階 | 14:30~16:30 |

ボランティアコーディネーターがお待ちしています

●学生向けおしゃべりコーナー

| 3階 | 14:30~16:30 |

ボランティア活動をしている大学生とお話ししましょう

●ワークショップ

| 4階 | 14:30~16:30 |

みんなで介助犬について学ぼう

【主催】名古屋市・名古屋社会福祉協議会 【企画・運営】ぼらマッチ!なごや企画会議

愛知大学 ボランティアセンター、愛知大学Aivo、愛知学院大学 社会連携センター、愛知学院大学AGUボランティアセンター、愛知淑徳大学 コミュニティ・
コラボレーションセンター、愛知淑徳大学 学生団体らぶ(てん)、名城大学 学務センター、名城大学ボランティア協議会、名古屋学院大学 社会連携センター、
株式会社デンソー、特定非営利活動法人名古屋NGOセンター、特定非営利活動法人HAPPY PLANET、名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア、名古屋市、
社会福祉法人名古屋社会福祉協議会、特定非営利活動法人ボラみみより情報局/順不同

※この冊子は、「なごや市民活動通信」と、「未来をつむぐライフマガジン『ボラみみ』」の合冊です。

■発行日: 2025年11月1日

●「なごや市民活動通信」のお問い合わせ

■発行部数: 9000部

名古屋市民活動推進センター TEL 052-228-8039

●「ボラみみ」のお問い合わせ

特定非営利活動法人ボラみみより情報局 TEL 052-228-7824

印刷: 愛源株式会社 ©名古屋市民活動推進センター 2025 禁・無断転載